2020年1月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 知事及び副知事の選出

2 外交

- (1) 米国によるバグダッド国際空港空爆に対する非難声明の発出
- (2) ロドリゲス外務大臣のメキシコ訪問
- (3) 米・キューバ間のチャーター便運航制限
- (4) タピア副首相のグアテマラ訪問
- (5) カブリサス副首相のフランス訪問
- (6) 第20回キューバ・ベネズエラ政府間委員会の開催
- (7) ボリビア政府による外交関係停止に対するキューバ外務省声明
- (8) キューバ・ドイツ政策対話の開催
- (9) キューバ・ルクセンブルク政策対話の開催

3 要人往来

- (1) 往訪

【本文】

1 内政

- (1) 知事及び副知事の選出

18日、新憲法に基づき、キューバの各県の知事及び副知事が選出された。新憲法に基づき県議会は廃止され、代わりに県評議会が設置され、同評議会が市議会間、及び市議会と地方政府間の調整を行う。

前県議会議長が知事として留任したのは、ハバナ、マヤベケ、ビジャ・クララ、サンクティ・スピリトゥス、オルギン、サンティアゴ・デ・クーバ、ラス・トゥーナス、グアンタナモの8県、前県議会副議長が知事として選出されたのはシエンフエゴス、カマグエイの2県。ピナール・デル・リオ県及びアルテムサ県では、前県行政機関長が知事として選出された。

2 外交

- (1) 米国によるバグダッド国際空港空爆に対する非難声明の発出

3日、キューバ外務省は、米国によるバグダッド国際空港への空爆に対し、米国によるバグダッド国際空港への空爆及びミサイルによる標的を絞った殺害を

断固として非難する、これは国際法の明白な違反であり、イラクの主権を大きく侵害するものであるとの非難声明を発出した。ブルーノ・ロドリゲス外務大臣も、自身のツイッターにて同様の内容を発信した。

(2) ロドリゲス外務大臣のメキシコ訪問

7日から9日にかけて、ロドリゲス外務大臣は、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合に出席するためメキシコを訪問した。同会合にて、ロドリゲス外務大臣は、統合を強化するための加盟国間の交流の活性化を訴え、2020年の議長国であるメキシコを支援していくことの必要性を強調した。

訪問中、ロドリゲス外務大臣は、ホルヘ・ロドリゲス・ベネズエラ副大統領、アレハンドロ・フェレール・ロペス・パナマ外務大臣、デニス・モンカダ・ニカラグア外務大臣、グスタボ・メサ＝クアドラ・ペルー外務大臣、フェリペ・ソラー・アルゼンチン外務大臣とそれぞれ会談を行った。

(3) 米・キューバ間のチャーター便運航制限

10日、米国務省はプレスステートメントにて、ハバナを除く米・キューバ間の商用チャーター便の運航を停止した旨発表した。同措置に対し、ロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて「米国による新たな措置を断固として拒否する。これは深刻な人権侵害かつ米国民の旅行の自由を侵害するとともに、家族との再会を妨害するものである」旨発信した。

(4) タピア副首相のグアテマラ訪問

13日から15日にかけて、ホルヘ・ルイス・タピア・フォンセカ副首相は、大統領就任式に出席するためにグアテマラを訪問した。訪問中、タピア副首相は、ギジェルモ・カスティージョ・グアテマラ副大統領と会談し、医療保健分野及びその他の共通の関心分野で協力していく意志を伝達した。

(5) カブリサス副首相のフランス訪問

14日から17日にかけて、リカルド・カブリサス副首相はフランスを訪問した。訪問中、カブリサス副首相はエドゥアール・フィリップ仏首相と会談した。双方は、貿易、投資、協力等の分野での関係を強化していくことで一致した。カブリサス副首相は、ジャン＝バティスト・ルモワンヌ・ヨーロッパ・外務付副大臣とも会談を行った。

(6) 第20回キューバ・ベネズエラ政府間委員会の開催

19日から20日にかけて、ベネズエラ（カラカス）にて、第20回キューバ・

ベネズエラ政府間委員会が開催された。キューバとベネズエラは、石油及び財政分野に関する2020年の二国間協力の課題について意見交換を行った。米国による対キューバ及びベネズエラ封鎖が悪化する中でのエネルギー・石油、財政、農業、観光、スポーツ、保健・教育などの分野での戦略的協力について協議が行われ、ベネズエラによる石油供給とキューバによるサービス提供の交換も維持することが発表された。キューバ側はカブリサス副首相、ベネズエラ側はタレック・エル＝アイサム経済担当副大統領が代表を務めた。

(7) ボリビア政府による外交関係停止に対するキューバ外務省声明

25日、キューバ外務省は、ボリビア政府による外交関係停止の決定に対し、「ボリビアとの外交関係の停止はキューバの責任ではない。キューバは、自国民の保護のために忍耐と慎重さをもって行動し、クーデターを起こした者による非難すべき行為にも拘わらず対立することを避けてきた」旨の声明を発出した。また、ロドリゲス外務大臣も自身のツイッターにて同様の内容を発信した。

(8) キューバ・ドイツ政策対話の開催

30日、ハバナにてキューバ・ドイツ政策対話が開催された。キューバ側はエミリオ・ロサダ二国間問題総局長、ドイツ側はMarian Schuegraf外務省ラテンアメリカ・カリブ地域局長が代表を務めた。双方は、キューバとドイツの良好な二国間関係について確認し、二国間関係のポジティブな発展を強調しつつ、共通の関心事項における協力及び交流を強化するために取り組むことで一致した。また、双方は、地域及び国際情勢についても意見交換を行った。Schuegraf局長は訪問中、アナヤンシ・ロドリゲス外務次官と会談した。ロドリゲス次官は、「米国による対キューバ経済制裁終了の必要性」国連総会決議に対するドイツの支持に対し、謝意を表明した。

(9) キューバ・ルクセンブルク政策対話の開催

31日、キューバ・ルクセンブルク政策対話が開催された。キューバ側はロサダ外務省二国間問題総局長、ルクセンブルク側はOliver Jean Michel Maes外務省政務局長が代表を務めた。双方は、キューバとルクセンブルクの良好な関係について確認し、貿易、教育、スポーツ、文化等の分野に存在する可能性に留意しつつ、二国間関係を強化していく意志を確認した。Oliver Maes局長は訪問中、ロドリゲス外務次官とも会談した。双方は、二国間の航空協定についても協議した。

3 要人往来

(1) 往訪

ロドリゲス外務大臣のメキシコ訪問

タピア副首相のグアテマラ訪問

カブリサス副首相のフランス訪問

カブリサス副首相のベネズエラ訪問